



冬野菜の被害の季節です！

冬場の獣害対策

増えすぎたシカの個体数を一定数まで、軽減させることが被害軽減の必須要件です。

これまで捕獲個体はほとんどが廃棄されていましたが、自然資源・山からの贈り物と捉え、シカ肉の有効活用も今後の大きな課題です。

シカ肉の有効活用は地域の活性化にもつながります。

尚、個体数管理は、長い目で見ると保護につながるという一歩を、念のために。

野生動物にとつて、これから春まで、山に餌が少なく厳しい時期になります。

これからの時期、集落内で動物に餌を与えないのです。



大根を食べるサル

秋はイノシシやシカの交尾期です。厳しい冬場を乗り越えて、晩春に出産を迎えます。

妊娠期の栄養状態が産率や生存率に大きく影響します。山に餌の乏しい秋から冬にかけて集落で野菜などの被害が出るということは、春先の産率の助長につながっているとみえます。

集落近くで得られる餌には、栄養価が高いものが多いため、動物たちは若齢で発情し、一度に産まれる子供の数も多くなります。

多くの野生動物にとつて秋は、子孫を産み育てるために、栄養を蓄える大切な季節です。

「食欲の秋」は何も人間だけに限ったことではありません。

「エサの量によってシカの生息数が決まる」

とまでいわれています。

例えば、秋に1000頭のシカが生きていける餌があつたとしても、冬の餌量が100頭分しかなければ、シカは100頭以上には増えないということになります。

1年の中で最も餌が少ない冬の餌量が、シカの生息頭数を決めるのです。

つまり、冬場の餌を減らすことが最大のシカ対策なのです。

1年のうちで最も山の餌が少なくなる冬場の対策が最も重要です。

集落内では、収穫残さ、生ゴミ、放任果樹など野生動物の非意図的餌付けとなつているものが多くあります。

野生動物による農作物被害が増えた一番大きな原因は「無意識の餌付け」だといわれています。

里に餌がある限り野生動物はやってきます。農作物被害を減らすためには、一人一人の努力と集落ぐるみでの対策が必要です。

かかし 案山子の話

古くは、鳥獣に田畑を荒らされるのを防ぐために、髪の毛やボロ布を焼いたものを置き、鳥獣が嫌がるにおいを出して近づけないようにした。これを「かがし」といった。においを嗅がせる意の動詞「かがす（嗅がす）」の名詞形。現在もそうしたものを言い、それを「かがし」と呼ぶ方言もある。

やがて、竹やわらでほぼ等身大の人形を作り、弓矢を持たせたり、蓑笠（みのかさ）をかぶせたりして田畑に置き、人間が見張りをしているように見せかけ、鳥獣の侵入を防ぐようにした。この人形も「かがし」、または清音化して「かかし」というようになった。

ちなみに、名張鳥獣害問題連絡会HPの表題名は「やまだのかかし」です。

意図的餌付け 非意図的餌付け

近年、起きていけるサルによる被害の原因は、「無意識の餌付け」が大きな要因だといわれています。

人間が非意図的だが耕作地に誘引しておきながら、耕作地から排除しようと本末転倒の対策を行っているのが現状です。

「無意識の餌付け」は、場慣れを進化させ、また「意図的餌付け」は人馴れを進めます。

二ホンザルには性成熟に達するとオスザルが群れを離れたり、隣や遠方の群れに移っていく習性があります。

このオスザルが場馴れや人馴れを他の群れに伝播して、他の個体も追随することになり、場馴れ・人馴れがさらに拡大していきます。

サルの場合、人慣れの進展は、非意図的

慣れが進み車にも慣れていきている様に思われます。

今月も栗・柿等を採食しているところを何度か目視しています。

B群は、先月後半から今月にかけて、室生地区の蔵・西谷集落に滞在し、今月から名張地区の竜口・赤目滝（長坂）方面に移動し柿等を採食しているところを目視しています。

1・2日ほど確認できない日があり「今井林道の奥」や「室生山上公園の奥」まで移動していたのではないかと考えられます。

今月も、国道165号線の南側を中心に活動しています。

両群共に、交尾期をむかえ、顔や尻の赤みが増しているようです。

編集局より

年末にあたり

まずは、今年一年間、ご愛読いただきありがとうございました。ごさいました。

来年は、創刊以来十年目になり、次なる区切りに向けてのスタートの年になります。

気分を一新して、フレッシュな気持ちで活動を継続していきたいと考えています。

まだまだ、至らぬ点の多い新聞ですが、今後とも、応援をいただければと思います。

サルの出没状況

名張A・B群

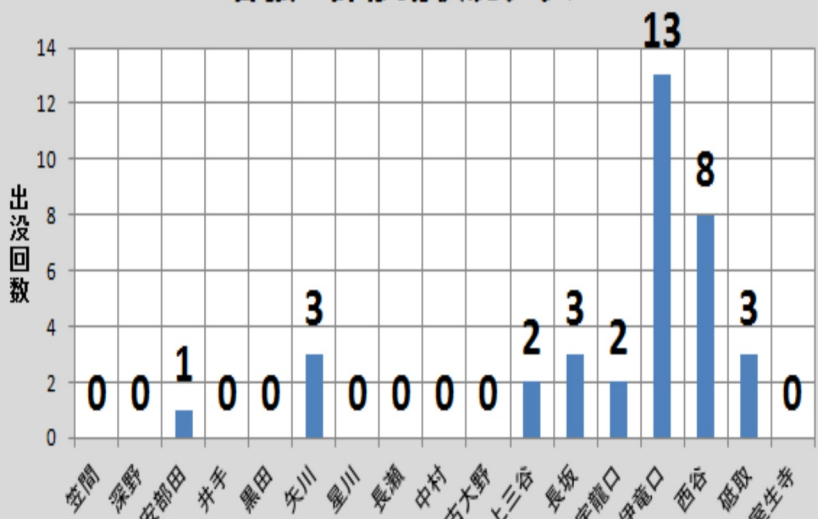
11月の動向

A群は、先月の後半は青蓮寺ダムから比奈知ダムの移動ルートに比奈知・奈垣がなつていたと思われ、近頃は人

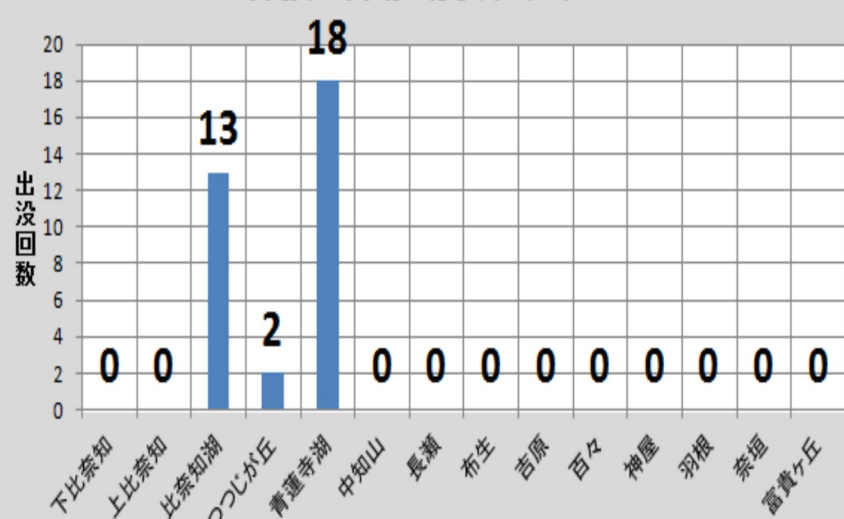
サルの餌になるような物を全て集落から排除することが大事です。

サルの餌になるような物を全て集落から排除することが大事です。

名張B群移動状況グラフ



名張A群移動状況グラフ



名張鳥獣害問題連絡会 発行部数

錦生地区：100部
 目地区：200部
 箕輪地区：70部
 ひなち・富貴ヶ丘：150部
 つつしが丘：430部
 市民センター：120部
 12地区
 名張市議会：20部
 名張市役所：20部